



秋空に 大歓声がこだまする

澄みきった青空が広がり絶好の運動会日和に恵まれた9月23日、町内幼稚園、保育園の最後をしめくり鷹巣教会幼稚園の運動会が分館グラウンドで行われました。「せんたくかあちゃん」「ねことねずみのしっぽとり」など、ユニークな種目につめかけた父母らは大声援を送り、会場はいつまでもにぎわっていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

8月31日現在	(前月比)
総人口 24,448人	(11人減)
(出生 36人	転入 34人)
(死亡 20人	転出 61人)
男 11,904人	(2人増)
女 12,544人	(13人減)
世帯数 7,286世帯	(10世帯減)

9月定例町議会行政報告



六十三年九月定例町議会は、九月二十日から二十九日までの十日間の会期で開催されました。議会は初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと、各常任委員会に付託されました。二十一日、二十二日は一般質問、二十六日から各常任委員会が開かれ、付託議案等を審議、最終日は本会議を開いて開会することになっています。町長が述べた行政報告の概要は次のとおりです。なお、決定した議案等は次回広報で報告します。

〔企画調整課関係〕：誘致企業の「秋田サンリツ」については、七日市工業団地に鉄骨平屋建七〇〇平方メートルの新工場を建設中でしたが、今月十七日に完成、十月一日から予定どおり操業開始することになりました。採用予定者は当初、男子五人、女子十五人でしたが、計画を上まわり、本社出向社員五人（男子）、新規採用者は男子八人、女子二十一人でスタートし、十月八日に竣工式典、祝賀会を催すことになっております。

東京鷹巣会は、首都圏在住者を中心に各地区会



町民の期待を集め操業開始した（株）秋田サンリツ

の結成、会員登録等が完了し、十月三十日、上野「タカラホテル」で東京鷹巣会の設立総会を開催することになりました。

秋田内陸線については、利用者の利便性と乗降客の増加をねらいに、鷹巣駅から小ヶ田駅寄り一・四キロに、ホームの長さ六〇メートル、総工費千四百万円、西鷹巣駅を十二月中旬に完成するよう、秋田内陸縦貫鉄道KKに工事委託し、全線開通時の六十四年四月一日から使用開始する予定であります。

統計関係では、三年ごとに実施される商業統計調査がこの程集計されました。それによると、商店数四五〇店（六十年調査より九件減）、従業員数一九五六八人（同三二人増）販売額七八八億円（同三一億円増）となっております。

〔町民課関係〕：交通事故対策では、町内小学校の児童を対象に、正しい自転車の乗り方を競う、子供自転車大会を開催した結果、竜森小チームが全県大会出場をはたし、準優勝の成績をあげました。しかし、残念ながら六月に中学生の死亡事故が発生しており、これら事故防止のため秋の交通安全運動はもとより、警察署、母の会など関係機関との提携を深め、関係者による事故防止キャンペーンなどの街頭指導を特に推進してまいります。

消防団の士気の高揚と消防器具操法の技術習得を目的とした総合訓練大会を鷹巣橋下流の右岸で七月十七日実施しました。

昭和六十三年度敬老式は、九月十日の鷹巣地区

を最初に、町内八カ所で開催、九十六歳を最年長に、七十二歳以上の対象者は二、〇四一人でありました。

〔保健課関係〕：保険税の七月算定（賦課期日四月一日）による調定額は、一般分四億七千四百二十一万五千円（八、七四一人）、退職者等分八千八百三十七万七千円（一、〇二二人）、計五億五千四百六十万二千円（九、七六三人、三、八〇六世帯）となりました。（昨年同期は五億六千六百二十五万五千円、一〇、〇八〇人、三、八四四世帯）

町民の健康を守り、疾病の早期発見、早期治療を目的にすすめている各種検診は、八月末現在で
 ■がん検診では▽胃がん二、〇三一人▽子宮がん六五四人▽大腸がん六八一人 ■一般健康診査五五八人（うち精密診査二八九人） ■結核検診二、五三七人です。

北秋田の住みよいふるさとづくりをスローガンに、地域の環境衛生の向上と地域保健の自主的組織活動の重要性を求めて、鷹巣阿仁地区環境衛生大会が合川町で開催され、当町より保健補導員が出席しました。

精神障害者の小規模共同作業所「杏っこ」が、九月六日開所されました。家族会が主体となり、関係団体、ボランティアの協力によるもので、今後の適切な運営が期待されております。

〔農林課関係〕：今年の稲作は、七月に入ってから異常低温に見舞われ、早生種に不稔障害が懸念され農協を通じ農家指導を行うとともに、町広報車により水管理の注意方を呼びかけました。町・普及所・農協の共同による、八月二十九日の不稔調査によると、被害状況は早生種のアキヒカリに集中し、平均不稔率は三八・一割でありました。今後は、農協と連携し、適期刈取と乾燥調整などに万全を期するよう指導をしてまいります。

町・漁協・観光協会共催の「日本レディスアツリ大会」は、河川の水量不足が懸念されておりましたが、八月七日の大会は全国から七四人の愛好者が参加し、盛会裡に終了することができました。女性のつり愛好者が少なく五人の参加でありましたが、神奈川県など県外の参加者が四〇人程であり、今後県内外の誘客に連なるよう努めます。

北鹿畜産基地事業は、源右エ門地内三・七畝、鳥越地内八・四畝を農用地整備公団の施行により草地造成中であります。

永年の懸案である農協合併については、七月十四日に「農協合併検討委員会」を発展的に解消し町参加のもとに協議を続けたい旨の申し入れがあり、併せて「会」の結成の労をとられたいとの要請がありました。町は「鷹巣町農協合併促進協議会」を設立するべく、六農協全役員（八七人）に町議会議長・農業委員会会長等一五人を加え一〇二人で構成し、同協議会を発足する準備を整え、八月四日に第一回協議会を開催、発足しました。事務局を農林課内に置き、農協中央会の指導を得ながら、協議会には、総務・財務・事業の三委員会（専門委員会）を置き、それぞれの所管事項について現状、課題、方針の検討を重ねるとともに、六農協個々の役員会、検討会を随時開いていただき精力的な協議を重ねてきたところであります。

協議会としては、六農協の合併を目標として、これまで協議会二回、専門委員会四回、正副会長会議四回の協議を通じ、現下の農業情勢と将来の展望などについて協議を続けてまいりましたが、九月十二日に至り、鷹巣町農協より諸般の事情から合併には参画できない旨の申し入れがあり、協議会は、五農協の組合長に諮るとともに、各農協役員会で協議の結果、五農協でも合併すべしとの方針で、専門委員会、協議会の開催を続けております。



不稔障害が心配されるアキヒカリ

す。今後の日程として、近日中に部落座談会を農協ごとに開催し、合併の趣旨、必要性、協議経過、合併の基本事項等を説明するなどして、十二月中旬には、合併予備契約の調印式を行う予定であります。

合併の意義は、ただ単に五農協または六農協の物理的な集りではなく、現下の厳しい農業情勢を見極め一般組合員を第一義に考えた、町の農業伸展ひいては町経済の最も重要な機関であることに思いを込め、組合員、役職員が一丸となり英知を結集した力強い新農協の誕生を期待し、町行政は、合併の隘路要因の解消、新農協の設立のための諸施策など、また、合併後の諸事業に対し可能な限り支援をしてまいる所存であります。

〔商工課関係〕：既存物産品の見直しを含め、新たな視点から創意をこらし、新商品の開発促進を図るため、ものづくり推進委員会を発足させ、製

造販売業者の協力を要請しつつ、「これが鷹巣町の特産品だ」をめざしております。

NHKと町の共催によるラジオ番組「ひるの散歩道」の公開録音が、女性プロ歌手三人の出演により、七月七日体育館で開催され、三、五〇〇人余りの町民が集い楽しいひとときをすごしました。湯の岱ワイルドサーキットにおいて、七月二十四日秋田県モトクロス選手権第四戦が開催され、町の若者のレジャーイベントとして後援し、選手八〇人、観衆一、〇〇〇人余りで、若者の精力的な技が展開されました。

伊徳商事合名会社（株）伊徳では「いとく鷹巣ショッピングセンター」の新設計画があり、七月二十九日「大規模小売店舗の届出に係る今後の運用について」の通産省局長通達に基づき、事前説明を受けました。

夏の観光イベントとして、日本一大太鼓を繰り出している綴子神社祭典、鷹巣ばやしをはじめ、曳山、子供みこし、夜店などで鷹巣神社祭典は例年になく賑わいとなりました。八月十五・十六日の二日間、夏の風物詩として銀座通りをメーンに開催された第三十二回町民盆踊り大会は、踊り手、観客の双方に創意と工夫がこらされ、二日間で七、二〇〇人余りの人出で活気づきました。

まちづくり特別対策事業で推進している「太鼓の館」等の建設事業は目下六十三年度着工のための条件整備を急いでおります。

湯ノ岱温泉の利用状況は、八月末現在の操業日数が一四二日、利用者は二二、七三二人、一日平均一六〇人であり、このうち町外からの利用者は二四％であります。

出稼ぎ互助会業務方法等の一部改正により、就労前健康診断の未受診者についての事故等の見舞金が一割から五割減額となりました。出かせぎ者

の安全就労対策のため、出稼ぎ相談員会議を開催し、制度改正の周知徹底と援護対策に努めます。

〔建設課関係〕：九月十日現在における工事発注件数は五十七件、三億七千六百七十二万円、予算対比五五・六割となっております。

今年発生した河川災害箇所十五件は、八月二十三日に実施検査を受け、申請額四千五百二十一万一千円に対し、採択率九六・六割の四千三百六十五万八千円となりました。

継続事業の町道葛黒・吉ヶ沢線の進捗率は第一工区六九・八割、第二工区五四・五割。河川緑地公園は四九割となっております。

県営施工による舗装工事は、九路線、延長一、五〇〇メートル完了しました。



堀り割部分の大詰めを迎えた葛黒・吉ヶ沢線

〔水道課関係〕：小猿部地区簡易水道事業の工事を発注（二カ年度分）し、現在第一年度分の施工区である与助岱から妹尾館地内の年内給水を目指し施工中であります。

量水器更新対策事業として、法定期限に達した量水器の更新を上水道区域内二九二件、簡易水道区域内七二三件、計一、〇一五件の工事が完了し給水条件の整備と給水効率の向上に努めております。

〔教育委員会関係〕：七月八日に開催された全県小・中学校スポーツ大会において、鷹巣小学校は走り幅跳びで優勝、鷹巣中学校は柔道の個人の部で優勝と準優勝、女子バレーは準優勝の成績をあげました。

七月二十六日から八月二十五日までの夏休みは登山・水泳大会など多くの行事が行われましたが事故なく終ることができました。

全日本大学選抜相撲秋田大会は、七月三十一日体育館で開催され、一、五〇〇人余りの相撲ファンの声援を受けて熱戦が展開されました。

成人式は、対象者三二二人中、二六七人が出席して八月十五日中央公民館で行われ、はたちの自覚と責任を誓い、新成人の門出を祝いました。

二十六回目を迎えた町民体育祭は、幼児からお年寄りまで約二千人が参加し、遊競技やリレーなどで体力づくりに励みました。

九月十日、十一日の両日、県民スポーツ大会ソフトボール競技が新設された米代川河川緑地公園内のソフトボール場を主会場に県下十八チームが参加し、連日好プレーが展開されました。

〔広域市町村圏組合関係〕：広域ごみ処理施設については、七月の広域組合議会定例会において議決を経て、十一億二千万円で（株）ユニチカと工事請負契約を締結し、九月十日現地（坊沢字大野宮後地内）において起工式が行われ、六十五年三月の完成を目指し工事が着工されました。

鷹巣競技場管理棟の改修工事は、六月三十日をもちって完成しました。

協同の心はひとつ

「新たかのす農協」のもとに

九月十九日、第三回鷹巣町農協合併促進協議会が役場で開催され、「町内五農協合併計画書(案)」について協議されました。同計画書は協議会発足以来、精力的に検討を重ねてきたものであり、部落座談会などを経て十二月に合併の予備契約の予定です。

協議会では八月以来、合併

に必要な調査、研究を目的とした「総務」「財務」「事業」の各専門委員会や先進地視察など細部にわたり取り組んできま

この間、鷹巣町農協が諸般の事情から脱会し大同合併にいたらなかったものの、総事業量の九〇％を占める五農協が足なみをそろえ、

町農業の振興と農業所得の増大、将来とも基幹産業としての営農指導や販売機能を一層強化、充実するため、農協の組織基盤をより拡大、強化を図ります。

今回提示された計画書案は、これら基本となる事項を盛り込んだもので、主な内容は▽合併しようとする各組合は、それぞれ解散して新組合を設立する▽合併



予定日〓昭和六十四年四月一日

▽名称〓新たかのす農協 ▽主たる事務所〓鷹巣町に置く(当面は綴子農協事務所とする)

▽従たる事務所〓現在の各農協事務所とする ▽組合員の

資格〓①正組合員は一〇％以上の土地を耕作する農民。②

年のうち六〇日以上農業に従事する農民 ▽総代定数〓五

一九人 ▽役員〓理事二人、監事五人とし任期は三年。た

だし、設立当時の役員定数は理事五五人、監事一六人とし、

任期は昭和六十五年四月一日までとする ▽役員選出方法

〓小選挙区立候補制とし、総会外においても選挙できるものとする ▽経費の負担〓指

導事業に必要な経費に充てるために、組合員に賦課するもの

とし、賦課方法は毎年総代会で定める一などです。

九月下旬から始まった部落座談会も大詰を迎え、積極的な意見交換が進められており、

多くの可能性を秘めた「新たかのす農業」が注目されます。

の

■1日(木)〓鷹巣郵便局にて簡易保険・郵便年金事業(六十四年度)の出発式に出席しあいさつを述べた。

■2日(金)〓鷹巣町林業振興推進協議会を開催。完成した林道、作業道及び工事

中の緑地休養施設を視察し、本年度の林構事業実施状況及び来年度の事業の計画、

そして林業振興の方策について説明と意見を徴した。

■3日(土)〓小猿部地区(七

協合併の専門委員会及び正副会長が数回開催された。

■10日(土)〓県民スポーツソフトボール競技大会。会場が初めて県都より離れて

当町の河川公園グラウンドにおいて開催された。また、

鷹巣地区の敬老式が行われ、十五日まで町内八カ所では

本年度の敬老式が行われた。該当者は七十二歳以上で二

千人余りである。

この日、ゴミ処理施設建



町長日誌

出川禮一

9月1日～15日

日市地区、沢口地区の一部)の簡易水道地鎮祭が行われた。二カ年事業として行うもので、五百世帯に飲料水を供給する事業である。

■4日(日)〓第二回J.Cカップバレーボール大会(小学生を対象)及び日本民謡協会秋田県支部連合大会に

は、民謡、民舞を含め百五十人余りの出演で延々六時

間を要した。それぞれ出席して祝辞を述べた。

■6日(火)〓13日(火)〓農

設起工式も行われた。鷹巣町外四カ町村の広域圏組合の発注で、一日当り六十の焼却炉が当町の緑ヶ丘地区に二カ年の継続事業として着工された。

■14日(水)〓第六回町長杯ゲートボール大会に出席、

この頃老人クラブ対抗のゲートボール大会が、とみに

多くなり、参加者も多くまた技術も向上した。さきの

東北三二国体に本町のチームが代表として出場した。

笑顔が いっぱい



▲敬老と言ってもまだまだ“現役”みんな若々しく見えます。(沢口地区)

町の敬老式は九月十日の鷹巣地区を皮切りに十一日に青山荘十五日に綴子、七日市など六地区が行われ、二、〇四一人の長寿を祝いました。

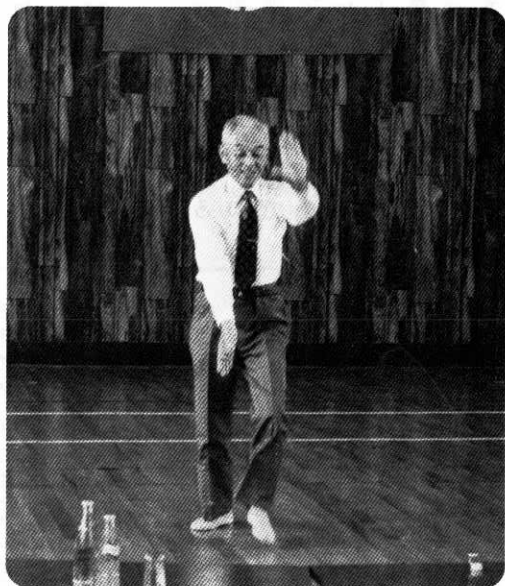
明治・大正・昭和と日本の激動期を生きぬぎ、今日の日本発展の基礎を築いた人たちが、九〇歳以上は、宮前町の成田ハツさん（九六歳）を筆頭に、男十四人、女四十一人となつていきます。

老人たちはこの日を待ちかね



▲88歳には褒^{ほう}賞状とはと杖が送られニッコリ（綴子地区）

飲むほどに会場は盛り上がり“昔とつきねづか”も登場（七座地区）



農業技術テレホンサービス

農業改良普及所では、農業技術情報のテレホンサービスを行っております。

10月の放送予定は次のとおりですので、ご利用ください。

- 10月1日～7日 スピード料理
- 10月8日～14日 大豆の収穫、乾燥について

- 10月15日～21日 越冬野菜の管理について
- 10月22日～28日 冬場に備えての家畜管理について
- 10月29日～11月4日 野菜の貯蔵について



「ますます一杯」しばらくぶりの対面に、笑顔がこぼれます（七日市地区）



敬老式は

2,041人が
長寿を祝う

ていたように連れだつて会場に向い、受付は大変な混雑ぶり。敬老と言っても、どの姿も若々しく、顔なじみに「しばらくだこど、元気だ」と声をかけあつていました。

祝宴では、婦人会の手厚いおもてなしに頬をゆるめ、お互い昔話に花を咲かせていました。酔うほどに自慢のノドやかくし芸を披露する老人もいて、終日なごやかなムードに浸つておりました。



▲「大横綱」のリハーサル（栄地区）～各地区とも設営から運営、余興まで大奮闘の婦人会の姿に、頭がさがります～



▲かぞえの85歳になった方には赤いチャンチャンコが送られご慢悦でした（鷹巣地区）

秋の全国防犯運動 10月11日～10月20日

住みよい町づくりのため、みんなで防犯についてもう一度考えてみましょう。

- ◎愛車へのいたわり示すドアロック
- ◎防犯は日ごと家ごと地域ごと
- ◎育てよう伸びゆく心と思いやり

- ◎覚せい剤！たった一度が命とり
- ◎暴力を許さぬ勇気と強い意志

米代川でイカダレース

「ふるさと清流を生かそう」

「豊かな清流米代川を町の活性化に」と、日専連鷹巣青年会主催の「第二回米代川イカダくぐり大会」が九月十一日通称糠沢オオクツをスタート地点に坊沢大橋をゴールとする約九キロのコースで行われ、二十五チーム（八十六人）が参加しました。

手造りが原則とあって、スタート地点には色とりどりの

ユニークなイカダが勢ぞろい、大半がチューブで浮力をつけ、その上に板を組み合わせていましたが、ドラム缶、ポリ容器発泡スチロールと浮く物ならなんでもござれ。イカダを運ぶにも大変で、なかには十メートルトラックで乗りつけるグループもありました。

午前一〇時を合図に一分間隔で出発したイカダは、浅瀬

でチューブがパンクしたりの連続に必死の様相。それでも、東鷹巣橋などの見物人から声援が送られると、Vサインなどで愛嬌を振りまいていました。ゴールでは各選手ともフラフラの状態。

優勝は琴丘町のチームで、一時間五分四秒のタイムで賞金五万円を獲得しました。



▲大らかな米代川に白熱したレースがくり広げられた



▶東鷹巣橋の上は見物人で埋まる

町職員初級資格試験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県町村職員（初級）採用統一試験要領により、受験申し込みください。

初 級 職 員

- 採用予定人員
- 受験資格
- 試験日（一次）

一般行政事務職員、消防吏員（男子）若干名
昭和38年4月2日～昭和46年4月1日生まれ
11月6日（日） 二次試験は一次試験合格者について通知します。

- 試験場
- 申込受付

秋田経済法科大学
10月11日（火）まで、「平日午後4時半、土曜日は正午まで」に役場総務課庶務係（二階）に申し込みください。

- 住所要件

(1)鷹巣町に住所（住民登録）を有している者。
(2)町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主（両親等）が鷹巣町に住所（住民登録）を有している者。

10月3日～9日

標識は安心集う道しるべ

全国道路標識週間

道路標識は道路を安全・快適・円滑に利用するための重要な施設です。ご意見やお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

建設省・能代工事事務所
大館国道出張所（☎〇一八六―四九―〇三二）

第18回県民スポーツ大会

テニス、バレー、バスケットで優勝



三年連続優勝のバスケットチーム

800メートルで畠山誠さん大会新

スポーツをとおして県民の交流と体力づくりを目的とした第十八回県民スポーツ大会が九月四日から十八日にかけて、秋田市などで行われ、当町の選手団は各種目に大活躍しました。

主な成績は次のとおりです。

〔陸上競技〕

■男子A組(三〇歳未満)

▽二百メートル三位小塚重光 △八百メートル一位畠山誠(2分1秒8大会新) 四位三沢勝則 △千五百メートル一位中嶋忍(4分25秒4) △五千メートル二位中嶋忍四位藤田寿 六位宮腰正樹

■男子B組(四〇歳未満)

▽百メートル三位佐藤要 四位出川喜英 △四百メートル一位津谷勝美(57秒1) 三位鈴木祐悦

▽三千メートル三位高橋喜久雄 △走幅跳三位津谷勝美

■男子C組(五〇歳未満)

▽百メートル四位桐越一英 △千五百メートル一位鈴木一弘(4分32秒7) △走幅跳二位桐越一英

▽砲丸投一位津谷徳男(11メートル81センチ)

■男子D組(五〇歳以上)

▽百メートル一位三沢実(15秒1) 四位藤木秀雄 △八百メートル二位三沢実

■市町村対抗四百メートルリレー二位(出川喜英 小塚重光 村上幸義 佐藤要)

〔軟式庭球〕

||Bゾーン優勝 Bチーム(沢田修一 武石為彦 吉岡興 畠山勇悦 藤島和政 津谷正毅 九島紀義)

〔バスケットボール〕||優勝

布田久人 畠山和幸 山内幸雄 松岡英敏 長崎篤市 神成義人 畠山孝秀 小塚重光 千葉和仁 長崎幹一 高橋努

〔バレーボール〕||壮年優勝

小笠原数雄 田村正男 柴田耕造 三上房男 小笠原俊郎 河田武弘 中島札司 長谷川隆司 佐藤光悦 成田隆男

成田修平

「体育の日」秋空に飛び出そう

■第24回町民駅伝大会

▼期 日 10月10日

▼場 所 鷹巣競技場

▼日 程 選手、役員集合 8時30分

開会式 9時

競技開始 10時

▼チーム編成

▷青年の部(19.6キロメートル) 各地区1チーム以上

▷職場の部(19.6キロメートル) 単一職場でチーム編成をする

▷壮年一部(11.2キロメートル) 35歳以上地区対抗とする

▷壮年二部(9キロメートル) 45歳以上地区対抗とする

▼区 間 各種目とも6区間とする

▼申し込み 10月3日(月)までに体育館へ

■歩こう会

▼場所、日程とも町民駅伝大会と同じです

▼コース 競技場～深閑～慶祝公園～相善～競技場

▼距離 6キロメートル(所要時間約2時間)

▼参加者全員に完歩証を授与します(当日受付)

▼走ろう会(3キロメートル) 自由参加とし、全員に記録証を授与します(当日受付け)

▼体力テストもいたします。

人から人へ、手から手へ

赤い羽根に やさしさをたくして

～共同募金運動10月1日から～



遊具に大喜びの子どもたち—明利又—

人々の心に「たすけあいの精神」を呼びおこす赤い羽根の共同募金は、今年で四十二年目を迎えます。だれもが自主的に参加できる運動であり、これまでさまざまな福祉活動に役立てられてきました。「わかちあう幸せ」のスローガンのもと、ご協力をよろしくお願いいたします。

私たちの住む社会には、ねたきりや一人暮らしのお年寄り、体の不自由な人、知恵おくれの人など社会的に援助を必要とする人々がたくさん生活しています。

共同募金運動はこのような援助を必要とする人々に、お互いたすけあいの精神によって、思いやりの手をさしのべるのです。

共同募金に寄せられた町民一人ひとりの小さな善意が、やがて大きな輪となって私たち町民すべての福祉を高めていくのです。

共同募金に寄せられた町民一人ひとりの小さな善意が、やがて大きな輪となって私たち町民すべての福祉を高めていくのです。

募金活動のすすめ方

町では共同募金会評議員会により地域の福祉計画を協議のうえ、目標額を定めて募金運動をすすめます。寄付者の方がたの判断材料として「目安額」を提示しております。

今年 の 目標 額
5,109,000円



ねたきりや一人暮らし老人の沐浴サービスにも役立っています。—青山荘—

で目標額達成のためよろしくお願いいたします。

共同募金は、だれもが参加できる気軽な福祉参加の機会です。戸別募金をはじめ、学校募金、職場募金、街頭募金をとおしてみなさんのあた

かい善意を募ります。町民一人ひとりがその持ち場持ち場で気軽にこの運動に参加できるように、家庭、職場、学校などで積極的に参加されることを願っています。

この運動を支えてくれる二百人の奉仕委員の方が毎戸にお願いに伺いますので、ご協力をお願いいたします。

集められた寄付金は

広域的計画として社会福祉

地域の計画としては、町の社会福祉協議会の事業費として、福祉講座、住民座談会の開催、ボランティアの育成、子供の遊び場の遊具の設置費、老人福祉費、身障者福祉費、児童福祉費、低所得者援助費などに配分されることになっています。

集められた寄付金はすべて県の共同募金会に送金され、翌年度各々の配分計画によって配分が決定されます。

赤い羽根は—
愛と希望のつばさです—

行政相談委員が

ご相談をお受けします

行政相談委員は、総務庁長官から委嘱された民間の有識者です。

役所や公団などが行っている仕事に対する苦情や要望、意見を住民から受け、秋田行政監察事務所と協力してその解決を図ってくれます。

町の行政相談委員は、次の方です。お気軽にご相談ください。

▽近藤栄一さん（六十二歳）
材木町六一三〇（六六一二一一〇）

次の日程で巡回相談を開きます。

▽十月十七日 坊沢公民館
▽十月十九日 綴子公民館

選挙人名簿定時登録者数 (昭和63年9月2日現在)

投票区	男	女	計
鷹巣第1	956	1,118	2,074
鷹巣第2	897	1,100	1,997
鷹巣第3	960	1,131	2,091
南鷹巣	790	876	1,666
摩当	265	283	548
太田	191	198	389
掛泥	389	418	807
綴子	742	838	1,580
田子ヶ沢	94	102	196
岩谷	44	44	88
糠沢	371	382	753
田中	392	421	813
坊沢	595	665	1,260
緑ヶ丘	145	160	305
黒沢	29	30	59
今泉	219	247	466
前山	196	227	423
坊山	84	85	169
小森	211	232	443
沢口	238	261	499
川口	126	136	262
七日市	547	578	1,125
葛黒	131	140	271
竜森	103	101	204
明利又	45	50	95
合計	8,760	9,823	18,583

おしらせ

NHK青年の主張コンクール

NHKでは青年の主張コンクール秋田県大会に出場する方の原稿を募集しております。

▽資格 昭和三十八年一月十六日～四十八年四月一日生、秋田県内在住者
▽テーマ 自由・家庭・学校・

▽十月二十日 中央公民館
▽十月二十一日 沢口公民館
※時間はいずれも午前十時から午後三時までです。

老人の精神衛生相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴呆の疾患など、老人の精神衛生に関する相談室、一般健康相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますのでご利用ください。
▽精神衛生相談 十月十二日、二十六日（午後一時～二時三十分）
▽一般健康相談 十月十三日、二十七日（午前九時～十一時）

職場・社会・そして世界とのかかわりの中で感じたことや考えたことなど（四百字詰め原稿用紙四枚程度、五分以内）

▽締切 十月十四日

▽応募・問い合わせ NHK秋田放送局 係（秋田市山王

一〇一八八―二三・五四一）

夜間当番医(夜間診療)の日程表

(午後6時30分～9時)

10月	曜日	医療機関名
1	土	佐々木産婦人科医院
2	日	藤原医院
3	月	鷹巣病院
4	火	奈良医院
5	水	佐藤外科消化器科医院
6	木	盛岡外科医院
7	金	戸嶋医院
8	土	戸嶋産婦人科医院
9	日	北秋中央病院
10	月	奈良医院
11	火	近藤医院
12	水	佐藤外科消化器科医院
13	木	藤原医院
14	金	北秋中央病院
15	土	盛岡外科医院

急患以外は受付けません。

時十一時）
▽場所 鷹巣保健所

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

▽日程 十月三日・十七日 受付 午後零時三十分から一時（終了時間三時）
▽妊婦教室内容 妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防 持参品 印鑑、歯ブラシ 場所 中央公民館保健相談室

タイヤドーズの公売入札

役場ではタイヤドーズ（カワサキ KLD6A9t）を公売入札します。

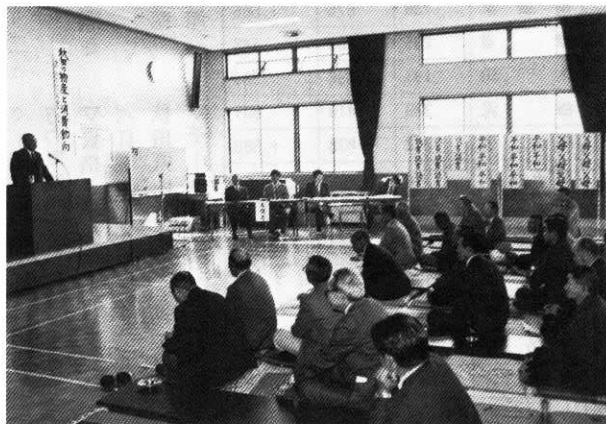
昭和五十年十一月に購入した機械ですが、建設現場での作業などに使用できます。

▽入札日時・場所 十月十四日・午後一時、役場大会議室
▽物件の説明 十月四日・午前九時三十分、中央小学校前資料置場

※問い合わせは役場財政課（六二一一―一内線三四）へ

問いかけ運動で 心の豊かさを求める

沢口地区公民館



中央公民館を中心にして、七つの独立した地区公民館がそれぞれ独創的な活動をしているのが当町社会教育の特色ともいえます。

沢口地区公民館でかかげている三つの問いかけ運動は、金銭や豊富な物量の豊かさに傾斜しがちな世相に送る涼風といった感じがします。

三つの問いかけ運動

- ① 奉仕の心―「たのしいさわぐち」づくりのために、あなたは今何が出来ますか。
- ② 連帯の心―「重いものは二

人でもてば半分になり、楽しさは二人のほうが二倍になる」という言葉を知っていますか
③ 向上の心―「今日のあなたより、明日のあなた」のために、あなたは今何を学習していますか。

経営目標

- ▽ コミュニティスポーツの推進
- ▽ 部落自治会長会活動の推進
- ▽ 青少年の健全育成

沢口地区のスポーツ活動の歴史は古く、数多くの栄光の記録とともに、現役で活躍している名選手も送り出しています。その土台になっているのが、地区駅伝、野球、スキー大会であり、子ども相撲大会、壮年ソフトボール、老人クラブゲートボール大会などがあります。特に今年度はスポーツ活動をとおして住民相互の情報交換と親睦が公民館活動の重点事項の一つとしてとりあげられています。

経営目標にかかげている自治会長会活動についても、地域行事の参加体制、協力体制をつくる自治会長会をはじめ、自治公民館活動を進める研修講座、それ等の総結集ともいえる秋の収穫感謝のつどいは農協とタイアップした地区最大のイベントとして住民に親しまれています。

その他青年のOBと語る集会、成人の沢口を語る会、婦人学習交流集会など生涯学習の実践が計画され着々その実績をのこしています。

公民館は心のよりどころであり学習をたすけ、「私たちの『さわぐち』を私たちの手でつくりあげるのだ」という基本方針も明快であります。

ふるさと

人物伝

佐藤儀市郎

一八九〇—一九六〇

地方史編纂で大切なことは資料を整えることである。

「坊沢郷土誌」のための資料整備と永安寺過去帳整備のために精魂を傾け、これを後世に残した佐藤儀市郎氏の功績は大きい。

儀市郎は明治二十三年、坊沢新屋敷町、儀右衛門家の八代として生まれ、大館中学校(現鳳鳴高)を卒業、坊沢小学校の教員となるが兵役後は郡役所に入り税務



係を勤める。その後県庁に移り、河辺財務事務所長を最後に退職。早口村助役を一期つとめ、坊沢村会議員となり、昭和十七年十月、坊沢村長に当選、戦争末期の物資欠乏の中で、落雷で焼失していた観音堂岱分教場に立派な校舎を建てた。

二期目の昭和二十一年十二月公職追放により野にくだり、村の教育委員、町村合併後初の監査委員、神社や寺の総代として活躍する。

昭和三十三年、郷土誌編纂計画が決まると実行委員の彼は支所や旧家の古文書を集め毎日のごとく執筆者松橋栄信氏と共に整理した。

また、永安寺の過去帳の中で古くて不詳のものや虫喰いでわからなくなっているものを数年かかって調べ、清書して九巻にまとめ「自分で調べたものだからまちがいがあったら訂正して残して下さい」と住職に渡した。

多くを語らず、学究肌で死ぬまで本を読み、考えを書き続け昭和四十年没す。(資料 長男貞夫、藤原興道氏談) 文責 長崎 久

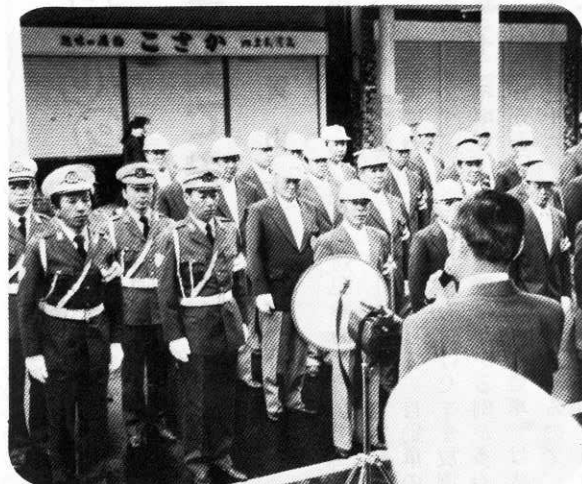


新スポーツに挑戦

県スポーツ振興事業団主催のスポーツクラブ研修交流会が、9月16日に鷹巣体育館で行われました。この中で新しいスポーツとしてホニック、ペタンク、リングカントリーゲームの実技講習会があり参加者は熱心にメモをとっていました。リングカントリーゲームは輪投げとゴルフを合わせた要素があり、みなさん童心に返ったようでした。

「みんなで育てよう、交通マナーと思いやり」をスローガンに、秋の交通安全運動が9月21日から30日までの10日間行われました。運動初日には警察署員や交通安全協会など関係者に中学生も参加して合同査閲が行われ、決意を新たにしました。その後、街頭に出て黄色い羽根やチラシを配り、無事故を呼びかけていました。

秋の交通安全運動始まる



小径木のバス待合所が完成

ログハウスなど丸太を使った建物がブームになっていますが、国道7号線綴子地内の新下町停留所にこのほど、小径木を使用したイキな待合所が完成しました。これは秋北バス(株)が県の補助を受け設置したもので、県内産の間伐材のPRもかねています。待合所は杉の香が漂い、明るく清潔感にあふれており、利用者からは大好評です。

9月18日に全町一斉に「クリーンふるさとデー」が実施され、朝モヤがたち込めるなか町民あがて参加しました。これは美しく住みよい町づくりを目的としており、朝早くから道路、会館前などの清掃作業が手ぎわよく行われました。中にはビニール袋いっぱいに入れ投げられたゴミも。「なして捨てるんだが…」本当ですよネ。

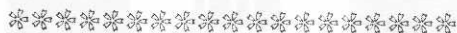
朝モヤの中でクリーンアップ



の広場



鷹巣教会幼稚園
さかい だいすけくん(六歳)



昭和五十六年頃だったと思うが、町役場で農協合併についての話し合いに参加したことがある。農家の人達の集いであった。
今、転作で大変になり何かを求めているが、一人では土地、条件、技術、販売等々問



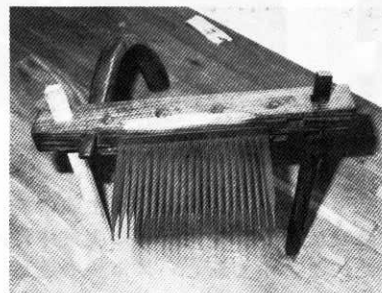
羽 立
永井修二郎さん(53)

活気ある農業を

今月のテーマ『農協合併について』

題があり難しい。
近隣の市町村の農協をみる時によい例であると思う。町内それぞれの農協は、農業振興の方策に時を要しながら頑張ってきたと思います。
農家は減反強化、米価引き下げでどうにもならなくなり自分の経営の中に、野菜、畜産など何かを取り入れ、懸命にやっている。町の基盤産業である農業、農家にとっては農協、行政の指導が必要であり、共同での取り組みを期待したい。
今、農協合併促進協議会が

対談 わたしたちの意見



稲こぎ機(センコギ)
1日に千束もこくという

この稲こぎ機は 300年前の元禄の頃考案されたといい、分館に展示してあるのは、日本最初の物という。稲の穂をこれにかけてもみにした。「せん歯こぎ」ともいった貴重な稲こぎ機であった。

(松葉町・佐藤 富雄さん)



防犯活動で栄誉章を受章

羽 立・青 山 末 吉さん(六十二歳)

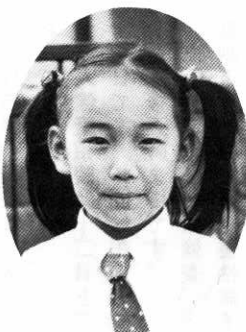
わたしの自慢

この度防犯功労者として、最高の榮譽である防犯榮譽章「金章」を受章、誠にありがたく感激で一杯です。
思えば昭和三十二年頃、組合員として防犯にかかわり、秋田国体当時の三十六年には防犯組合坊沢支部を、発展的な新しい支部に結成しました。
一口に防犯活動と言っても地味な活動で、吹雪が舞う寒い夜中の取締りや、真

夏の防犯診断、そして「ロックパトロール」、特に最近の傾向として、自動車の「キー」を付けたまま放置して盗難にかかる例が多くなっており、「盗難車」は大きい犯罪につながるの、自動車の錠かけ運動を重点対象にとりあげて、防犯運動を進めて参りました。
このような活動も協会員、地域の人々の暖かい協力により、三十年の月日が過ぎました。私には良き指導者、良き先輩、良き友人に恵まれ、今回の受章に結びついたものと心から深く感謝しております。
今後とも、町民の皆様のご指導を得て、「明るく、犯罪のない街づくり」のため、更に地域に根ざした防犯活動を、強力に進めていきたいと思っております。



鷹巣教会幼稚園
たかしみずあいちゃん(六歳)



みんな



発足され、協議が行われていると聞いておりますが、前進することを期待し、農家に活気づけるようお願いいたします。

合併で強い農協に



今 泉
藤内順一さん(46)

ようやく農協合併促進協議会が、設立されたようですが、一日も早い合併実現を望み、大館や鹿角農協のような、力のある農協に脱皮してもらいたい。

そして、秋田県の農協のリーダーとして、時代とともに



秋晴れ

ようやく涼風がたちはじめた

ので、さわやかな秋晴れを期待していたのに、意外に天気の良い日が多くて、がっかりすることがよくあります。

実は、秋は天気の悪い日が案外多いのです。地域によっては、梅雨期の六月と同じくらいの「雨の日」を記録する

変わりゆく農家の、明るい道しるべになる事を期待します。

農村生活にも自由化の波が押し寄せ、農民個々の力ではどうにも出来ないせとぎわまで生活が強いられる様な毎日です。

農協合併により、強い専門的営農指導と、資材の安価供給等、農協、町一体となって、特産品の開発等、農民に明るい農村建設に意欲を持たらししてほしい。

各農協間では、いろんな問題が多くあると思いますが、合併により、県内一強い農協になり、農民をぐいぐい引っ張り、営農指導、産地開発等職員一人一人夢のある農協マンをめざしてもらいたい。

ところもあります。

「男心と秋の空」とか、「女心と秋の空」とか言います。どちらが本当かは知りませんが、ともかく秋の空は、変わりやすく、不安定なのです。

ところで、秋晴れによく似合うのが、共同募金の赤い羽根。今年も、十月一日から始まります。高齢化社会を迎えて、こうした行事の意義はますます大きくなります。みんなで、協力したいものです。

40年代のおばあさんたちである。気に入った棒であればなんでも愛用したが、現在はこの手押車が流行の最先端となりました。

(9月17日消印で当係に「今昔」の写真が届きました。差出した方はご一報ください。)



たかのすの昔

おしらせ



一線美術運営委員 九島繁二氏

十月の健康相談

十月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十二日と二十六日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、十二日＝禁煙について、二十六日＝頭の老化とボケ予防について行います。

◇ ◇

リハビリ学級は十九日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。
※場所はいずれも中央公民館保険相談室です。

◇ ◇
四力月児健康診査は二十五

日です。

対象は六十二年六月生まれのお子さんです。受付時間は午後一時から一時三十分までです。

◇ ◇

離乳食指導と七力月児健康相談は二十五日です。

対象は六十三年三月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで、母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

※場所はいずれも鷹巣保健所です。

◇ ◇

一歳六力月児健康診査は六日です。

町県民税三期・保険税四期

の納期限は十月三十一日です

対象は六十二年二月、三月生まれのお子さんです。受付

時間は、午後零時四十分から一時二十分まで、場所は中央公民館ホールです。

◇ ◇

フッ素イオンむし歯予防は六日です。

対象は満三歳児以上のお子さんです。受付時間は午後一時から三時まで、場所は中央公民館保健相談室です。母子健康手帳、タオルをお持ちください。

三種混合ワクチンの予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの予防接種を行います。

接種日は、鷹巣地区以外の方は十月十九日、鷹巣地区の方は十月二十日に行います。

受付時間は、午後一時から二時まで。場所は中央公民館ホールで行います。

おいでの方は必ず母子手帳

を持参ください。

健康大学開設

鷹巣地区を対象に開設している「健康大学」は次の日程です。ぜひ受講してください。
▽十月五日＝心の健康、婦人病と更年期後の生活の仕方。時間は午後一時から四時三十分まで、場所は中央公民館ホールです。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
ご芳志に感謝いたします。
▽相善＝高坂市五郎さんから亡母リノさんの香典返し
▽向黒沢＝浅村満洲男さんから亡父市右衛門さんの香典返し
▽川口＝中嶋英隆さんから亡父鶴治さんの香典返し
▽掛泥＝金沢憲一さんから亡父多蔵さんの香典返し
▽糠沢＝高橋健二さんから亡妻ツル子さんの香典返し
▽宮前町＝木村清さんから亡母ミ子さんの香典返し
▽糠沢＝米沢トミエさんから亡夫仁一郎さんの香典返し

慶弔だより

9月1日～9月15日

■誕生おめでとうございます

松橋 李奈(秀一) 長女(西上綱堀井 龍治(兼雄) 二男(下町佐藤 和也(美吉) 長男(湯車福田 志保(公人) 長女(東上綱和田 成基(信) 長男(大町神成 志織(寿寛) 二女(小森■二人の前途を祝福いたします

戸 沢 章 前山
田 中 昌 子 上小阿仁村
杉 沢 政 松葉町
阿 部 江利子 松葉町
戸 澤 広 之 前山
村 上 ひとみ 秋田市

おくやみ申しあげます

永井 幸治(65歳) 坂上町
奥山 正吉(75歳) 材木町
小塚 サト(92歳) 堂ヶ岱
木村 ミ子(79歳) 宮前町
寺田 ヨシノ(82歳) 元町
米沢仁一郎(59歳) 糠沢
金澤 正夫(61歳) 高野尻
樽沢 ヨシ(65歳) 旭町
宇佐美イヨ(71歳) 脇神
日下部民郎(80歳) 掛泥
津谷キツエ(84歳) 坊沢大町
藤嶋 カス(76歳) 太田